4/6 赤旗

今村復興相に抗議して辞任を求める人たち＝5日、東京都千代田区

自主避難者に「自己責任」とは何事

復興相辞任を

復興庁前

東京電力福島第1原発事故の自主避難者への住宅の無償提供の打ち切りをめぐり、「本人の責任」「裁判でも何でもやればいい」などと国の責任を放棄する発言をした今村雅弘復興相の辞任を求め、東京都千代田区の復興庁前で5日夕、緊急の抗議行動が取り組まれました。

今村氏は4日の会見で、帰還できない人は「自己責任か」と質問した記者に、「基本的にはそうだと思う」と答えていました。さらに質問した記者に、今村氏は「出て行きなさい」「うるさい」と質問を打ち切って退室しました。

行動は、有志がインターネットなどを通じ呼びかけました。リレートークでは、「原発事故は、国と東電が引き起こした人災。『自己責任』は、加害者が言うことではない」「任命した安倍首相の責任も大きい」などの断えが続きました。

避難者の支援活動をしている西東京市の男性（66）は、「自主避難と言っても、放射線が子どもに与える影響を心配して避難せざるを得ない人たち。住宅支援を打ち切った上に、事故がなかったかのように言うのは許されない」と語りました。

今村氏は3月のテレビ番組でも、避難指示区域外からの避難者に対し「ふるさとを捨てるというのは簡単」だと述べ、支援の打ち切り・縮小を進める安倍政権の冷たい姿勢をあらわにしています。↓関連❷面

福島のこと忘れたいのか

福島県南相馬市から原発事故で避難し、山形県米沢市で「避難者支援センターおいで」の事務局長を務める上野寛さん（52）の話

今村雅弘復興相の「自己責任」発言は今の国の状況を反映しています。原発事故から6年たち、現場を直視せず忘れたいという思いが強いのでしょう。しかし、6年たっても事故は収束せず、国もはっきりと原発事故の責任を認めていません。腹立たしいことです。

政府から避難指示が出たのは原発事故から1カ月後でした。このままではだめだと、みんな自力で避難したのです。そういうことも理解せずに自主避難者に対し「自己責任だ」という発言は不適切この上ありません。

私は記者の質問の方がまともだと思います。福島県も県民や避難者に寄り添う立場であれば、政府に対して復興相発言の説明責任を問わなければなりません。